

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームじゃんけんぼん

(ユニット名) パーユニット

記入者(管理者)

氏名 今村 タマキ

評価完了日

平成 20年 6月 28日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			一人ひとりが尊重され、健康で安全と自由があり、お互いが支え合いながら、明るく楽しく生活できる安らぎの家 の理念を事務所内に掲示し、職員全員が理解し、暮らしを支えるサービスに努めている。		
			(外部評価)		
			「地域との交流を通じて、利用者の明るく楽しい生活を支援する」という事業所の基本方針に沿って、理念が作られている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			ミーティング等でも確認し合っている。		
			(外部評価)		
			居間に事業所の理念を掲示されている。		事業所では今後、ユニット会等の職員が集まる機会に、基本方針や理念について話し合いを行う予定となっている。さらに、職員が一丸となってケアを実践するためにも、「事業所の目指すこと」を共有する仕組み作りが期待される。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族には、入居時に説明、運営推進会議を定期的に行い、理解を深めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣近住民、道行く近辺の人たちに、進んで挨拶を心がけている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域行事や活動などに出来る限り参加するよう心がけ、ホームの行事にも参加願うよう、案内等に努めている。  (外部評価) 事業所の夏祭りに近所の方を招待し、一緒に楽しまれた。それらをきっかけに顔馴染みになり、外の掃除時や散歩の際にはあいさつを交わしたり、声をかけていただけようになった。		地域との交流の場をもっと広げたい。  今後は、地域の催しにも積極的に参加し、さらに交流を広げていきたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 取り組めていない。		地域高齢者とのこう理由を深める努力を行う。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価に職員が目を通し、ミーティング等で話し合っている。ユニット評価の共有と改善項目への取組を行っている。  (外部評価) すべての職員で自己評価に取り組まれた。管理者が代わり、3ヶ月が経ち、管理者は、自己評価に取り組み、日常業務等のマニュアル整備の必要性等を感じておられた。		今後、評価結果や家族アンケートの集計結果等を、貴事業所のサービスの質の向上につなげていけるような取り組みが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			定期的取組による利用者ニーズの把握をもとにサービス向上に活かせるよう努めている最中です。		
			(外部評価)		
			会議では、外部の講師をお招きして感染症等についてお話をいただき、その後の会議で事業所での感染症対策を報告された。現在、会議を開催されているが、地域の方の参加や意見等は少なめである。		さらに、地域の方にも出席いただけるような働きかけの工夫や会議の進め方等についても検討を重ねていかれることが期待される。いろいろな立場の方からの意見を引き出せるような会議のすすめ方についても工夫を重ねてみてほしい。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			交流が少なく、より多くの交流機会を持てるよう、積極的な努力を行っています。(現在は、市高齢福祉課との情報交換程度です。)		
			(外部評価)		
			市の高齢福祉課とは連絡を取り、運営上の課題など相談に乗ってもらっている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援して いる	(自己評価)		
			できていない。		制度についての勉強会やセミナー等への参加による制度理解に取り組む
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員それぞれが意識し、防止に努めている。		虐待について、更に詳しく知る機会を作る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居の際に、十分な説明を行い、理解していただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日頃から、利用者の話を聞き不平不満等があった場合は、ミーティングなどで、情報交換し、解決に繋げている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) ご家族の方が来所あるたび、健康状態・金銭管理等、個々に報告している。急を要する時など電話等の対応もしている。		
			(外部評価) 2か月に1回、行事の様子の写真を載せた「たより」をご家族に送付されている。来訪の難しいご家族には、お手紙でご本人の様子を報告されている。		さらに、事業所での利用者の生活ぶりがよくわかるような「たより」等についても、工夫を重ねていかれることが期待される。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の来所時に希望や意見などを聞く。		
			(外部評価) ご家族からの意見や要望事項は、事業所のサービスの改善のため前向きに捉え、施設長・各ユニットの責任者で話し合われている。		又、家族会で認知症の勉強会を行うこと等も検討されている。ご家族も事業所の取り組みにかかわる機会作り等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  リーダー会にて実施している。		職員全員の意見を聞く機会作りを積極的に実施する。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  勤務変更等が可能な職員による柔軟対応を実施している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  人事異動が実施されるも、利用者へのダメージはそれほどみられない状況です。  (外部評価)  3か月前に管理者が交代されている。職員がユニット間で異動する場合は、利用者に会いに行かれることもある。		さらに、職員が代わることでの利用者へのダメージについて話し合わせてみてほしい。職員の離職等を防止するような策についても、工夫と検討を重ねていけることが期待される。
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  研修の予定表を職員の見やすい、出勤タイムカード近くに置き、自己啓発を促すと共に計画的な職員の研修参加を実施している。  (外部評価)  研修の案内を職員が目にしやすい場所に掲示し、参加者を募っておられる。職員は、最近受講した外部研修で「利用者のできることを見極め支援し、ご本人に自信を持ってもらうことの大切さ」を学ばれた。		今後は、さらなる職員の知識等の向上を目指して、内部の勉強会も充実させたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)			
			取り組めていない。			
			(外部評価)			
			研修時には、他事業所の職員とともに学ばれている		研修時に知り合いとなった他事業所との交流を、すすめていく予定となっている。さらに、貴事業所のサービスの質の向上に向けて、交流を広げていかれることが期待される。	
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)			
			職員間では話し合うことがあるが、ストレス解消ができる取組はできていない。			
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)			
			運営者は、職員個々の状況、勤務状況を把握し適宜スキルアップの研修参加を行っている。			
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>						
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)			
			日々の体調、精神状態を把握し、声掛けコミュニケーションに努めている。			



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  入所されるまでに、家族とよく話し合いをしている。また、入居されてからも家族から何かあればスタッフが聞き、交流を図り信頼関係を築くよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  相談を受けた時には、スタッフと家族がよく話し合いをし、解決に向けた支援になるよう努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  まずは、見学に来て頂いたり、利用者の家族も一緒に過ごしたりして、施設の雰囲気・環境等をご理解願ひ、要望があればさらに改善工夫した支援を心がけている。  (外部評価)  ご家族と面談し、ご本人の状態や要望等について、ゆっくりお聞きし、事業所を見学してもらっている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  利用者本人の話を傾聴、共感をもって、尊厳を忘れないように接する。日常生活では、協力し合って生活できるよう努めている。  (外部評価)  職員は、利用者から励まされたり、料理や味付けのアドバイスをもらうこともある。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者家族の話にも傾聴する姿勢を持ち、より良い関係作りに努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の心に秘めている家族への思いをご家族に理解願ひ、施設への面会等を多く来ていただけるよう、声かけに努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 人事異動等を極力少なくし、馴染みの職員・利用者関係の継続に注意を払っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者全員が一つの家で暮らしているという雰囲気を重視し、円満な関係が築ける支援に努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後の利用者・利用者家族との関わりを必要とした先がない。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日常会話の中で、さりげなく聞いてみたり、困難な場合は、こうではないか?と職員で話し合ったりして、行動している。		
			(外部評価)		
			職員は、日頃から利用者の話をよく聞き、具体的な選択肢を挙げて、希望や意向の把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			アセスメントに目を通し内容の理解と把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者の日常生活の中から、情報を収集し、職員間で意見交換を行い、新たにケアプラン当にも取り入れ、状況の把握に努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族を交えて話し合いをする機会が少ない現状下、職員の介護現場での状況把握による介護計画作成となるケース多く、作成後の家族訪問時等における説明による理解を得ている。		
			(外部評価)		
			職員は、ミーティング時に利用者個々について意見交換を行い、介護計画を作成しておられる。		さらに、「ご本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成」という点からも、ご本人・ご家族の意見や希望を十分に採り入れた計画を作成できるよう、工夫を重ねていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の期間を3ヵ月とし、見直し時に新たな問題や変化等が生じた場合は、直ちに即した新たな計画を作成している。		
			(外部評価)		
			介護計画の内容について、支援できているか毎日チェックする表を付けておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケース記録を細かくつけ、計画見直し時に職員同士で話し合い、現状に即した計画作成ができるよう努めている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			施設で対応できるものは、出来る範囲で応じている。		
			(外部評価)		
			利用者それぞれのかかりつけ医の受診の送迎、デイサービスのレクレーションへも希望に沿って、参加できるようになっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		(自己評価)  地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	支援願いは行っていない。		
41		(自己評価)  他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて話し合い支援を行っている。		
42		(自己評価)  地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	利用希望者の情報について、地域包括支援センターとの情報交換・提供等で協働している。		
43	18	(自己評価)  かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族から希望がある場合は、希望崎を優先し、特にない場合はホーム嘱託医を説明した上で納得を頂き、受診・往診等の支援を行っている。		
44		(自己評価)  認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医は24時間、対応可能となっている。病院受診時には、職員が同行し、医師とお話をされている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 計画・連絡・相談を頭に置き、日常の健康管理・医療活用の支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入退院時には、看護職員・介護職員が付き添い、病院との情報交換を行い、ケアに当たっている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) かかりつけ医または看護師により家族へ十分な説明を行い、納得された上でケアにあたっている。また、スタッフ全員が理解に勤めている。 (外部評価) 看取りについて利用者、ご家族の意向や希望をお聞きし、利用開始時に確認されている。		ホーム自身の看取り対応についての各種対応様式等整備し、職員全員で対応力の強化を図る。  さらに、職員も一丸となって取り組むためにも、重度化や終末期の支援について、勉強を重ねる機会作りが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医に24時間対応をして頂き、異変等に備えた支援をしている。		ホーム自身の看取り対応についての各種対応様式等整備し、職員全員で対応力の強化を図る。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者の現状や状況を家族や関係者等に伝え、十分な話し合いを行った上で、利用者にとって一番良い生活状態を相談、住み替えの支援を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			声かけに関しては、個人を尊重した声かけを心がけている。記録等に関しては、見えない場所に保管し、プライバシーの保護に努めている。		
			(外部評価)		
			利用者の個人の尊厳やプライバシーについて「権利擁護の行動指針」を作成し、職員に順守するよう指導されている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の意思や意見を尊重し、聞き取り・話しかけを利用者に合わせ、理解を得た支援に努めている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			本人の生活のペースや行動に職員が合わせる形で個々の支援に努めている。		
			(外部評価)		
			ゆっくり食事をされる方にも焦らすことなく、利用者のペースに合わせて、ゆっくり支援されていた。食後も居室で休む方、テーブルで会話を楽しむ方等、思い思いに過ごされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理美容については、月1回ホームに来ていただくのが決まっていますが。スタイルなどは本人の希望等を取り入れ、その人らしさが出るよう好み等を反映している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 家事(配膳・食器拭き等)を介護計画に取り入れている利用者もいて、他の利用者と協力しあった食卓となる支援をしている。  (外部評価) 利用者の希望を聞いてメニューを決めておられる。代表者が釣った新鮮な魚が食卓に上ることもある。調査訪問時、職員は、ゆっくりと利用者のペースに合わせて食事介助をされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 出来る限り本人の希望に応じている。(ビール・タバコなど希望されたら職員が買いに行き、利用者には楽しんでいただいている。)		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックシートを活用し、本人の排泄パターンを見出し、トイレ誘導を行い自力での排泄支援を行っている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴日・時間帯は、職員の配置の都合が考慮されているが、入浴時間や入浴希望は本人の意向に添った対応を行っている。		
			(外部評価)		
			入浴剤を使用されることもある。足浴等も支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			無理な睡眠を強要したりせず、本人の睡眠リズムに合わせた支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			日常生活にメリハリができるよう、家事手伝いや買物、気晴らしの散歩など、職員と楽しみながら日常の個人生活を過ごす取組を行っている。		
			(外部評価)		
			トランプや詩吟を楽しむこともある。居室で携帯電話を利用している方もおられた。		利用者個々の生活歴等も踏まえ、できること・できそうなこと・興味のあることの把握に努め、ご本人の喜びや楽しみの支援を工夫していかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族との話し合いを行い、金銭管理の可能な利用者に関しては、小遣程度のお金を持てる支援をしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			出来る限り職員または家族同行にて外出支援を行っている。		
			(外部評価)		
			近くの保育園までお散歩されたり、アイスクリームを買いにスーパーマーケットに出かけることもある。		職員で協力し合って、利用者が外出できるような機会は作れないだろうか。又、管理者は、ご家族やボランティア等の協力者も増やしたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			利用者希望に沿えるよう、日常会話に出てくる行きたい場所等を職員が理解し、行事予定等に組み込み、出来る限りの支援ができるよう配慮している。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者より手紙を頼まれた時には、スタッフがかかわりに投函するようにし、電話については事務所電話をえるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会はいつでもできるように開放的にし、家族や馴染みの人との外出も自由に出来る。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員が、拘束についてユニット会などで話し合い、理解した上で支援に努めているため、現在ユニット内で身体拘束は無い。		今後とも「具体的な行為」について職員理解を徹底したい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室には鍵は付いていない。玄関も、やむをえない場合を除き、日中は開放している。 (外部評価) 玄関、ユニットの入口に鍵をかけていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 居室に入る場合は、必ずロックを行い、声かけを行い、所在や居室での様子を把握するよう努めている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自己管理できる利用者に関しては、必要最低限の物を居室に置き、職員が常にその物の所在の確認を怠らず、安全に配慮した対応を行っている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) リーダー会で、事故防止を話し合い、紙面や口頭ですべての職員が理解するよう努めている。		すべての職員理解の体制作りが必要。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護師と相談しながら、マニュアルの見直しや定期的な訓練及び話し合いを行っている。		定期的な講習が必要と考える。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的な避難訓練を行っている。 (外部評価) 新しく「防災マニュアル」を作成された。		地域の人々にいざという時の協力を働きかける必要がある。 地域との協力体制作りをすすめていかれてほしい。いざという時に駆けつけてくれる協力者を増やしていかれることが期待される。又、いろいろな場面を想定しての訓練を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 面会に来られたご家族の方と話し合いを行い、利用者の現状から考えられるリスクについて説明を行い、了承のもとに対応策を講じている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェックや状況観察から、体調変化を読み取り速やかな看護師への報告による対処方法の医師との確認による処置を実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬等は看護師が行っているが、介護職員が行う場合、その都度分からない場合、看護師に聞き行っている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜の摂取・適度の運動・マッサージを行っている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアを行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分量のチェックを実施。水分量など少ない場合は飲み物の工夫をし、促している。 (外部評価) 献立作成時には、栄養バランスの他に汁物、デザート等、水分の確保についても考慮されている。目盛付きのペットボトルで一人ひとりの水分摂取量を知り、記録されている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 手洗い、うがいを励行。消毒液による清掃等を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的な冷蔵庫の内容物のチェックや調理道具の消毒を行っている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関の開放や四季おりおりの花や植物の整備をすることで、親しみがもてる工夫を行っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共用の空間には無駄なものを置かず、利用者が集まりやすい場を作っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>中庭には多くの草花が植えられ、共用空間は観葉植物や絵画が飾られていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の状態を観察し、一人一人に合った席の配置を行っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			使い慣れた家具や小物、食器を使用し、出来るだけ以前と同じ環境を作り、過ごせるように工夫している。		
			(外部評価)		
			居室に、ご家族やペットの写真を飾り、テレビや冷蔵庫、仏壇を持ちこまれている方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			利用者が、自室を出られている間、換気や清掃を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			潜在機能を引き出せるよう、自カプラス一部介護支援を心がけ、事故のないよう注意して行っている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			もてる力の引き出しに注意、傾聴を怠らず、アドバイスをおこない、自信を持って行えるよう、声かけによる頑張りを引き出す支援を行っている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			天気の良い日は特に外気浴やテラス・外周を歩いたり、散歩に同行したりしている。		



. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常の会話の中で要望や考え方を理解し、できるだけ希望を叶えられるよう努力している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) 1 毎日ある ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	利用者と一緒に出来ることやゆったりした時、お茶の時間を楽しんだり、レクリエーションをして楽しんだり出来るだけ関わる時間を持てるよう努力している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	車椅子の方や寝たきりの方は、スタッフがその都度援助や介助をしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	料理準備の為にモヤシの根きりや土筆のはかま取り等個人参加ばかりでなく、全員参加できるよう心掛けている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	戸外に出る希望者の方が少なく、なかなか実施しにくい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的・精神的変化があるときは、速やかに報告し対処している。(Dr往診にこられることもある)
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会に来られる家族の方が話しやすいような環境を作りたい(度々来て頂けるように)
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	家族の方や信者さんが定期的に来所されている。

項 目	取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 す る 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )	判 断 し た 具 体 的 根 拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている 2 ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	広がるのに時間がかかりそうです。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 ② 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフのコミュニケーションが取れにくくなかなか難しい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	サービスに対しては努力している。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	なかなか理解しがたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

入居者の人たちに対して優しさをアピールし、家族に安心感を持ってもらう。